

## ☆Philippinesへ英語留学体験 その②

その①で簡単に書きましたが、Philippinesについて誤解の無い様にお願いたくして再度書きたいと思います。

- ・タクシー料金をぼられることがある。  
タクシー料金の払い方に2つの方法があります。

1. タクシーメーターを動かして料金数字の文だけ払う方法
2. 乗る前に、運転手と利用者が行先までの料金を話し合っただけで、料金を払う方法

日本では、2のようなことをしないので、メーター料金より多くの金を支払ったと知ったとき、「だまされた」とか「(お金を)ぼられた」と思うのですが、運転手にとっては、双方で話し合っただけで料金ですので、正当な料金なのです。

Philippinesは「話し合っただけで物の値段を決める国でもある。」といえると思います。

この考え方は、「双方が納得する。」ということに最高の価値があります。

「物の値段」が決まっているときと「物の値段」を決める時とがある。  
日本は、「物の値段」が決まっている。でも、国によっては「物の値段」を決める、これが普通。

買う人が「高いなあ。」と思うと、値段を下げるよう要求する。  
売る方は、品物の値段を高くして多くの利益を上げようとする。

しかし、そのために売れなければ、利益は「0」

買う人は、「最高に安くさせる。」

売る方は、「0」でない売れる最高の値段で売る。」

そこで、

話し合っただけで決めた値段＝品物の正当な値段  
というわけです。